

課題名：後代検定事業
 担当部署名：肉用牛研究所・改良研究室
 予算(期間)：1952年度～

1. 目的

本県銘柄牛「常陸牛」等の肉用牛生産のため、産肉能力の優れた種雄牛を造成し、凍結精液を安定的に供給することで和牛の改良を促進する。

直接検定で選抜した候補種雄牛を(公社)全国和牛登録協会(以下、全和という。)が定める和牛種雄牛産肉能力検定法により、現場後代検定を実施する。

2. 方法

(公社)全国和牛登録協会が定める和牛種雄牛産肉能力検定(現場後代検定法)に基づき実施した。

1) 検定場所

畜産センター肉用牛研究所

全国農業協同組合連合会茨城県本部肉用牛哺育育成センター

民間農場

2) 供試牛頭数：概ね18頭/1種雄牛

3) 出荷月齢：去勢：29か月齢未満、雌：32か月齢未満

3. 結果の概要及び要約

候補種雄牛「百合桜5」、「安茂関」及び「義常治」の産子について検定を終了した。

得られた枝肉成績及び格付け成績は表1のとおりである。

今後、専門部会により選抜の可否について検討を行う予定である。

表1 現場後代検定の結果概要について

候補種雄牛	性別	頭数	と畜月齢	検定期間	枝肉重量 kg	左半丸 枝肉重量 kg	ロース 芯面積 cm ²	バラ厚 cm	皮下 脂肪厚 cm	歩留 基準値 %	脂肪交雑	
											BMSNo	等級
百合桜5	全体	28	29.0	597.5	505	252	64	8.6	3.2	74.3	7.0	4.1
	去勢	18	28.7	585.3	516	258	64	8.8	3.1	74.4	6.6	4.1
	雌	10	29.6	619.5	485	242	63	8.4	3.2	74.2	7.6	4.3
安茂関	全体	23	29.2	609.3	500	251	66	9.0	2.9	75.1	7.2	4.3
	去勢	14	28.8	591.6	525	263	66	9.2	2.7	75.1	7.0	4.2
	雌	9	30.0	636.9	461	231	64	8.6	3.1	75.0	7.6	4.4
義常治	全体	17	28.6	577.1	530	266	74	8.7	2.2	76.2	9.1	4.8
	去勢	12	28.0	569.9	549	276	74	8.8	2.1	76.2	9.2	4.8
	雌	5	29.8	594.2	483	242	73	8.5	2.5	76.2	8.8	4.8

4. 凍結精液の製造及び供給

候補種雄牛を含め 12,905 本を生産し、5,647 本を供給（販売）した。

（※供給本数には試験配布，廃用除く）

表2 種雄牛別精液生産及び販売状況について

種雄牛名号	R2販売本数	R2歳入額	R2生産本数	R3販売本数	内県外販売	R3歳入額	R3生産本数	R3年度末在庫
◎北国関7	2,394本	2,883,870円	0本	1,517本	25本	1,698,950円	0本	11,945本
◎茂光洋	1,298本	1,439,900円	1,835本	1,311本	33本	1,482,030円	295本	6,431本
◎日出丸105	23本	34,980円	210本	60本		66,000円	225本	13,140本
◎北平関	1,495本	1,644,500円	3,250本	2,086本	33本	2,334,530円	3,700本	7,656本
○北平5	70本	89,100円	245本	15本		9,900円	0本	5,474本
○塙安福	485本	353,100円	2,120本	305本		201,300円	955本	9,730本
○百合宏	120本	79,200円	200本	0本		0円	320本	4,425本
その他	42本	13,860円	5,085本	353本		116,490円	7,410本	39,395本
合計	5,927本	6,538,510円	12,945本	5,647本	91本	5,909,200円	12,905本	98,196本

※◎基幹種雄牛、○一般供用種雄牛